

報道関係者各位

AutoForm Forming R11 – プレス成形の精度は次なるレベルへ

プレス成形プロセスおよび BiW アセンブリ・プロセスのソフトウェア・ソリューションを提供する世界有数のサプライヤであるオートフォーム社は、最新のソフトウェア・バージョン AutoForm Forming R11 を発表しました。最新バージョンには多くの強化機能や新機能が搭載され、新たなレベルに到達したプレス成形ソリューションをご活用いただけます。特に新たな測定シナリオ、冷間プレス成形における温度効果の考慮、複数部品を使用する工程の現実的なモデリング、弾性金型たわみ計算を使用したオーバークラウンの利便性は高く、また AutoForm Forming パッケージ内で生産準備に適した高品質 CAD サーフェスを作成する機能も新たに搭載されています。

新たな測定シナリオ：AutoForm Forming R11 では、スプリングバック測定シナリオが大幅に強化されました。実際の製造工程と同じようにスプリングバックを測定することができるのはもちろんのこと、新機能の開発により複数の測定シナリオを同時に評価および比較できるため、シナリオごとに部品に対する影響を確認できます。部品のスプリングバック挙動をより深く把握することで、スプリングバックの見込み補正に最も適したシナリオを選択することが可能になります。

冷間プレス成形における温度効果の考慮：実際の製造現場では同じ条件下で生産を続けていても、予期せぬ不具合にしばしば直面します。その一つの要素として、部品と金型の温度がどのように変化するか、また温度変化が生産工程にどのような影響を与えるかを深く理解することは非常に大きな意味を持ちます。AutoForm Forming R11 では新開発のスマート・ランプアップ手法が搭載され、冷間プレス成形における温度の影響を計算することが可能になりました。そして部品のフィージビリティをより正確に予測し、工程のロバスト性を担保することができます。

複数部品を使用する工程の現実的なモデリング：AutoForm Forming R11 では、ひとつの材料から複数部品を生産する場合と複数の材料を投入する両方の方法で、複数の部品を取り扱うことができるようになります。複数の部品をどのように分割して取得するかを検討を効率的に行い、さまざまな計算を実行することができます。また複数の材料を投入するケースをマルチブランクと呼び、同じプレスで複数の部品を同時に製造する場合にも、このソフトウェアをご活用いただけます。部品が相互に及ぼす影響を検討しながら形状の修正やプレス内での部品の位置決めを行えるだけでなく、適切なクッション荷重を特定することで成形挙動を最適化することもできます。

弾性金型たわみ計算を使用したオーバークラウン：金型のたわみは、トライアウト回数の増加、不良品の増加、量産開始後のメンテナンス増を引き起こす場合があるため、部品の製造において深刻な問題となります。たわみの見込み補正を行うことで、より効率的な生産を実現できます。AutoForm Forming R11 では弾性金型たわみ計算を使用して、オーバークラウンと呼ばれる手法で金型のたわみを見込み補正します。この結果は切削用のデータとしても使用でき、トライアウトの回数削減の一助ともなります。

オートフォーム・グループ CMO のマーカストマは、以下のように述べています。「オートフォーム社の最新ソフトウェア・バージョン AutoForm Forming R11 により、プレス成形の精度が次なるレベルに到達しました。このリリースと併せて、AutoForm Forming パッケージの中で製造準備に適した高品質 CAD サーフェスを作成するソフトウェアとして最近発表した AutoForm-DieDesignerPlus に特化したイベントを開催いたします。ユーザーの皆様をお迎えできることを楽しみにしています。このイベントは今後数週間のうちに世界各国にて開催を予定しています」

オートフォーム社について

オートフォーム社は、プレス成形および BiW アセンブリ工程のソフトウェア・ソリューションを提供しています。400 名以上の社員を擁するオートフォーム社は、製品の製造可能性、金型および材料のコスト計算、ダイフェース設計、バーチャルなプレス成形、そして BiW アセンブリ工程の最適化に対応するソフトウェアのリーディング・プロバイダとして広く認知されています。大手自動車メーカー20 社やほぼすべての関連企業が、AutoForm を利用しています。スイスのチューリッヒを本拠として、その拠点網はドイツ、オランダ、フランス、スペイン、イタリア、チェコ、スウェーデン、アメリカ、メキシコ、ブラジル、インド、中国、日本、韓国に広がっています。この他 10 カ国以上に代理店を設けています。詳しくは弊社ウェブサイトをご覧ください。
www.autoform.com

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

オートフォームジャパン株式会社 担当: 坂本
〒105-0021 東京都港区東新橋 2 丁目 3 番 17 号 MOMENTO SHIODOME 3 階
TEL: 03-6459-0881 / E-mail: marketing@autoform.jp



AutoForm Forming R11 ではプレス成形の精度が新たなレベルに到達しました。

高解像度の画像データが必要な場合はお問い合わせください。